

施工段階		竣工前		12	設備工事： 建築確認完了検査	シート番号 12-2
電気	空調	衛生	その他			
○	○	○	-			

建築確認完了検査は、建物引き渡しに重要な検査です。
建築物省エネ法、非常照明、避雷設備、換気設備、機械排煙設備、防火区画貫通処理等が検査の対象となります。

ポイント

■ 図面関連

・確認申請図書等は、竣工現場と合致していますか、計画変更又は軽微な変更の提出は完了していますか。

■ 現場関連

- ・非常照明のバッテリーは充電されていますか。
- ・防火戸の連動作動試験は済んでいますか。
- ・専門業者立会者の確保、現場内の連絡方法（トランシーバー等）は用意されていますか。
- ・区画貫通処理材の認定番号が記載されたシールを貼ったり、認定書が必要です。
- ・検査当日は隠ぺい箇所が確認できるように、点検口等を開けておきましょう。

■ 書類関連

- ・非常照明 照度測定、避雷針 接地抵抗、換気風量の測定データ、写真は整理されていますか。
- ・省エネ法に関連する仕様書等は準備してありますか。
- ・その他必要書類は、整理されていますか。

先輩アドバイス

- ・非常照明の測定は、夜間の停電状態が必要です。竣工前は他業種も大忙しなので、段取りに注意しましょう。
- ・非常照明の検査当日の確認方法は打合せ済みですか。（ブレイカー位置や他グループへの影響も考慮しましょう）
- ・風量測定は、制気口直接より、筒状の治具を使った方が、簡単で時間短縮になります。

チェック項目

- 建築確認完了検査の体制は整っていますか。（建築、設備、昇降機、検査官、スケジュール）
- 工事監理報告書データは整理されていますか。（非常照明、接地抵抗、風量測定（一般+24h）等）
- 隠ぺい箇所の施工写真は整理されていますか。（接地、配管材種別、トラップ、区画処理等）

失敗すると...

- ・建築確認済書が交付されないと、建物引き渡しができません。建物が予定通り使用開始できないと補償問題等にもなります。



共通管理項目	合理化省力化	施工性向上	品質・性能向上	工期短縮・圧縮	コスト削減(材料)	コスト削減(労務)	設備先行工事	工事区分見直し	責任所在明確化
	○	-	○	○	-	○	-	-	○
備考	参考文献：						制定	2019年3月1日	
	参考メーカー：						改訂	2023年3月1日	